

令和8年 第1回定例会

# 一般質問通告書

令和8年3月24日（火）

令和8年3月25日（水）

令和8年3月27日（金）

与那原町議会

# 令和8年 第1回 定例議会一般質問順番表

3月24日(火)		
順番	氏名	予定時間
1	志村幸司議員	午前10時～ 正午
2	町田元利議員	
3	諸見里史子議員	午後1時30分～ 午後3時30分
4	古堅亮吉議員	
3月25日(水)		
順番	氏名	予定時間
1	仲里賢次議員	午前10時～ 正午
2	宮里武志議員	
3	船谷政喜議員	午後1時30分～ 午後3時30分
4	新垣真一議員	
3月27日(金)		
順番	氏名	予定時間
1	相羽としえ議員	午前10時～ 正午
2	城間優希議員	
3	松長康二議員	午後1時30分～ 午後3時30分
4	知念正成議員	

※予定時間は、あくまでも目安です。

※YouTube(ユーチューブ)配信も行っています。

## 1. 志村 幸司 議員 一般質問要旨

### (1) トーチカの平和学習への活用

- ① トーチカへの仮設歩道が完成したが、これから平和学習にどう活用するのかを伺う。一般向けの活用はどのように考えているか。
- ② 小学校、中学校での活用はどう考えているか。
- ③ 駐車が出来ない状況にあるが対応を考えられないか。

### (2) 子ども達へのインターネットリテラシー教育の徹底

- ① SNS等によるいじめや不適切映像への取り組みはどのような状況か。
- ② AIの活用についての教育は行っているか。行っていればその内容を説明頂きたい。
- ③ 肖像権や著作権等についても指導しているか。実施しているならその方法を伺いたい。

### (3) 子ども達を危険ドラッグ等から守る取り組みの徹底

- ① 危険ドラッグ等の事件が続いており、危険がすぐ側にあるという状況は共通認識だと思うが、直近で、学校ではどのような取り組みを行っているか。
- ② 厚生労働省が掲げている「ダメ。ゼッタイ」の標語を活用した活動はできているか。実施していればどのような取り組みか。
- ③ 参加型イベントは周知効果が高いため、学校で俳句コンテスト等を行って頂きたいが、いかがか。
- ④ 上記①～③の取り組みは、町でも実施が可能と考えるがいかがか。また、旗を持っての手振りやパレード等も効果の高い周知活動になると思うが実施できないか。

### (4) 数学力向上について

- ① IoTやAI等デジタル技術を擁する第四次産業革命の真ただ中である昨今、論理的思考に結びつく数学力が国力に直接影響すると言われているがどのようにお考えか。
- ② 数学力を高める取り組みを学校及び本町として考えられないか。

答弁を求める者 町長 教育長

## 2. 町田 元利 議員 一般質問要旨

### (1) 小中学生向け自転車安全教育について

- ①自転車安全教育はどのくらいの頻度で実施していますか。
- ②2026年4月1日から、自転車にも「青切符（反則金制度）」が導入され、違反行為に対して即金銭的な負担が発生するようになります。16才以上が対象にはなっていますが、小中学生にも、周知した方がいいとおもいますが。
- ③交通災害共済加入募集方法はどのようにしていますか。
- ④加入状況は把握していますか。

(2) 町内バス及びマイクロバスの運転手について

- ①町内バス及びマイクロバスの運転手はそれぞれ何名登録されていますか。
- ②それぞれの運転手の最高年齢を教えてください。
- ③定年制度は設けていますか。
- ④運転前の健康チェックやアルコールチェックは行っていますか。
- ⑤運転手の適正評価はどのように行っていますか。
- ⑥沖縄県の最低賃金は1,023円ですが、運転手当は適正に支払われていますか。

(3) 町内夜間パトロールの強化について

- ①夜間パトロールは生活環境安全課が区長会と一緒に月1回のパトロール実施していて、健全育成協議会で1月～3月のみ月1回、与那原警察署員とともにパトロールを実施していますが、深夜徘徊・薬物利用の低年齢化の観点から、パトロールの強化が必要と考えられますが、いかがでしょうか。例えば生安課と健全育成協議会でそれぞれ月1回(月2回)のパトロールの実施を提案しますが。

(4) ゆめなり橋通りについて

- ①ゆめなり橋通り、マリンプラザのダイソー裏の交差点ですが、パークゴルフ側から交差点に向かうと西原方面へ向かう右折車が多く、右折車が2～3台いると直進車が通過出来ず、渋滞が起こる、その交差点の幅を拡張するか、時差式信号には出来ないか。

答弁を求める者 町長 教育長

### 3. 諸見里 史子 議員 一般質問要旨

(1) 高校生等通学支援事業について

- ①事業内容を伺う。

(2) 不登校について

①令和4年度と令和7年度の町立小中学校の不登校児は何人いますか。

(学年別)

②不登校になる原因は、無気力・不安・生活リズムの乱れや遊び、非行などほかにどんな原因があるのか伺う。

③文部科学省2024年調査によると全国的に350万人近い小・中学生が不登校になっております。

不登校児童生徒が、約35万4000人。いじめの認知件数が、約76万9000件。暴力行為が約12万9000件で、10年間で約3倍、特にコロナ禍以降に急増した。こうした背景には、どのような問題があるのか伺う。

### (3) 起立性調節障害について

①思春期に子どもが、朝起きられない病気(起立性調節障害)に対する学校の認識と対応の所感を。

### (4) 小学校における教科担任制導入について

①小学校で、教科担任制導入またはチーム担任制で教育委員会、校長先生または関係者と話し合う機会がありましたか。どのような考えがあったのか伺う。

### (5) 小学校での学習支援が必要な児童について

①小学校における学習支援が必要な児童数と支援員の人数を伺う。

### (6) SNSについて

①小・中学生のSNS依存やネットの危険性について、どのような対策をしているのか。

### (7) 小・中学生の目の健康について

①最近タブレットやゲーム機などデジタル端末の利用時間が長くなることにより目の病気を患うリスクが高くなるとも言われています。児童、生徒の目や視力についての現状と健康を維持するための取組について伺う。

### (8) 町営住宅について

町営住宅は大切な町の財産である。経済的に厳しい母子家庭・高齢者にとっては家賃の割高な民間アパートに住み続けるのは経済負担が大きい。

①令和7年度の各町営住宅の入居申込件数と実際に入居した数は

②過去に抽選によらない特別な理由で入居した世帯はあるか。

その理由について伺う。

③保証人制度を廃止した後で、家賃の滞納はあるか、現状は。

(9) 平和教育について

①昨年は、戦後80年の節目の年でした。若い世代に平和のバトンを継承する。戦争体験者の高齢化の進む中、若い世代に戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えていくことは今後等に重要になる。継承が途絶えないよう取組の工夫や充実にどのようについ止めるか伺う。

②修学旅行で、広島や長崎の平和記念像から世界へ、共に平和とは何かを考え、共感し、平和への思い、平和学習、歴史学習、原爆の記録、核兵器の脅威について学べる広島、長崎を修学旅行先にしてはどうか。

(10) 尿漏れパットの支援について～安心して外での活動がしやすく健康で共に過ごせる高齢者に優しい支援を～

①本町の65歳以上の人口と、70歳から75歳の人口を伺う。

(11) 町民の声より

①町主催の新年祝賀会に一般住民が参加することは可能か。

②浜田区内に町民誰でも利用でき、優しい公園、立派な遊具が設置されましたが、完了の報告が区にないため使用していいののかの問合せがありました。

事前に報告は出来ませんか。

②スマートフォンは持っているが、なかなか活用できない現状である。

町から発するラインや避難情報など受けることが出来安心です。

高齢者向けのスマホ教室の開催はできますか。

答弁を求める者 町長 教育長

## 4. 古堅 亮吉 議員 一般質問要旨

(1) 町民の健康について

①町民の健康を維持するためどのような取組を行ってきたか。また、今後は新しい取り組みはあるのか。

②「見える化」による健康づくりの現状と住民からの評価は。また、要望などはあるのか。

③健康寿命の延伸の取り組みは。

(2) 上与那原都市計画について

①現在の進捗状況は。

②近隣の市に接している道路についての協議はどうなっているか。

③今後の都市計画の構想は。

(3) 部活動について

- ①本町の中学校に外部指導者はいるか。
- ②部活動の地域展開はどうなっているのか。

答弁を求める者 町長 教育長

## 5. 仲里 賢次 議員 一般質問要旨

(1) MICE施設整備の見直しについて

- ①令和7年6月定例会の答弁で、県が試算した経済波及効果について「本町としてもその数値的な根拠を細かく確認、精査していく必要がある」とあったが、その結果を伺う。
- ②県はホテル併設を必須条件としない方針を示す可能性が高い。その場合、イベント運営が非効率になるだけでなく、誘致力低下が危惧される。さらに消費の地域外流出による経済効果の分散や夜間滞留の低下が見込まれる等、マリンタウン地区への悪影響が大きい中、本町として具体的な対策を伺う。
- ③MICE開催時以外の需要が見込めない地域で、ホテル整備だけを別公募にした場合、応札する事業者が出てこない可能性は高く、事業が成立しないと思われるが、県に対する本町の考えを伺う。

(2) 与那原マリーナについて

- ①県港湾課ではPFI事業（民間資金）を活用し、令和11年度から3施設（与那原マリーナ、きらきらビーチ、宜野湾マリーナ）の包括指定管理に向けて検討しているが、本町へのメリットデメリットやスタンス等の考えを伺う。
- ②沖縄県から本町へ管理移管することで、観光振興や海洋レジャーの拠点としてより柔軟な運営が可能になると考えるが、本町の見解を伺う。

(3) 沖縄都市モノレールの延伸について

①与那原町地域総合交通戦略（後期戦略）の策定にあたり実施されたアンケート調査において、「自動車に代わる公共交通」として最も多かった回答はモノレールであり、前期・後期ともに全体のおよそ3分の1を占めている。

1) 町民アンケートにおいてモノレールが最も多い結果となったにも関わらず、計画ではLRT導入を中心に記載されている理由を伺う。

2) モノレール延伸とLRTについて、本町としてどのように比較検討（費用、輸送力、実現可能性）を行ったのか伺う。

3) 町民アンケートで最も多かったモノレール延伸について具体的検討が示されていないのは、町民意向を政策形成に反映されていないと考えるが、本町の見解を伺う。

4) 町民アンケート結果を踏まえると、モノレール延伸について国や沖縄県へ要請することも必要だと考えるが、本町の見解を伺う。

#### (4) 与那原町高齢者能力活用センターについて

①公共施設等総合管理計画の策定の有無について伺う。

②当該施設の指定管理業務内容として「施設の維持管理」も含まれているが、消防用設備点検しか実施されていない。施設長寿命化に向け、公共施設等総合管理計画を策定し、各種点検・診断、維持管理や設備更新などの計画的な管理を行う必要があると考えるが、本町の考えを伺う。

#### (5) 会計処理について

①公金管理の安全性について

1) 本町における歳計現金及び各種基金の管理体制について伺う。

2) 公金の支出手続きにおいて、誤送金や不適切な支払いを防止するためのチェック体制について伺う。

3) 万が一、会計処理の誤りが発生した場合の対応手順について伺う。

②会計事務のチェック機能について

1) 支出命令書や契約書等の審査において、会計課ではどのような観点で審査を実施しているのか伺う。

2) 不適切な支出や書類不備があった場合、どのような是正措置が取られるのか伺う。

③会計事務のデジタル化について

1) 本町における会計処理の電子化の現状について伺う。

2) ペーパレス化や電子決済の導入もしくは検討状況について伺う。

3) 今後の会計事務の効率化に向けた取り組みや考えを伺う。

答弁を求める者 町 長

## 6. 宮里 武志 議員 一般質問要旨

### (1) 国保税負担を巡る諸問題について

#### ① 実務的質問

##### ア 納付率について

本町国保税は平成30(2018)年度に12年ぶり、令和7年度に7年ぶり、令和8年度は2年連続の値上げに加えて、子ども支援金徴収でダブルパンチが浴びせられようとしている。さらにこのダブルパンチは今後数年も連続して行われることが予告されている。

そこで、加入者世帯の納付状況について、令和7年度の最新月の累計納付率と令和6年と5年の同月納付率の実状を伺う。

##### イ 条例改定可決日について

令和7年度4月改定は同3月3日可決をみた。令和8年4月改定は令和7年12月8日可決をみた。

そこで、令和8年度改定の可決が令和7年度と比較して、年間サイクル的には3カ月早まった理由を問う。

##### ウ 子ども支援金について

令和8年4月から創設・課税される子ども支援金は、国保を含む各種公的医療保険加入者から目的外徴収することになっており、本町は条例改正に向けて今月5日付で資料1なるものを議会に提示した。その6ページ「モデル世帯」の所得と家族構成から、子ども支援金の額を示している。

そこで、同じ所得と家族構成で、令和6～8年度の子ども支援金を除いた従来の国保税額を問う（各種減免ナシで、また8年度は確定した税率で）。

② 前項実務的質問への答弁を受けた後に町長へ問う。

ア 国保は国民の受療権を守る最後のセーフティネットである。この制度が政治の後退によって悪くなれば中間層を含めた現役労働者も悪くなり、何より誰もが加入する後期高齢者医療制度にも直接的に跳ね返る。だからこそ世代間の支え合いだけに頼ることなく、逆に世代間対立に向かわせるものでもなく、政府がしっかりと介入することが大事で、同時に地方自治体もその立場で手を尽くすべきだと考える。

この観点で、改めて国保税引き上げ方針の転換を求める。

また、本町の税は従来の3区分に加えて新設の子ども支援分もあと数年以上の引き上げが予告されている中で、加入者の担税能力の限界性を明らかにし、本町の担うべき役割を問う。

イ 子ども支援金にかかる国保税条例改正案は現時点で議会に提出されていないが、専決処分もあり得る旨の非公式表明があった。これについて本員は、3月10日の本会議で再考を求めたが具体的・明確な答弁はなかった。

本一般質問時までには何らかの展開があると思われるから、その経過をみながら伺う。

## (2) 医療費赤字問題を住民目線で改善に向かわせる方策の一環

### ① 所信表明9ページ「健康づくり事業」から

ア 乳幼児・妊産婦・特定・長寿・一般の5健診を支援・推進する旨述べており、これは特別に力を入れるべきだと考える。

そこでまず、直近3年間のこれら受診率はどうなっているかを伺う。

イ 受診率向上は、健康なうちに受診し病気の早期発見・早期治療で重症化を防ぎ、もって、本町がめざす健康長寿を進めることで元気な街づくりと地域経済振興にも寄与し、何より赤字問題を税引き上げではなく、住民目線で改善に向かわせるものだと考える。

そこで、地域や学校・職場、その他等で受診率向上に向けてどのような対策を実施しているかを伺う

ウ 医療費がおおむね3%増との背景に医療技術の進歩もあるが、低調な健診実態も大きな要因だと考える。これを全住民的に克服に向かうシステムをつくることが行政には広く求められ、期待されるものである。そこで、受診率向上に向けてごく小さな私の経験を述べる(口頭)。

②所信表明関連で別質問

8 ページ「子育て支援」の下段、「母子・父子医療費助成において中程度以上の障害を有する18歳から20歳未満の児童の保護者までの対象拡大等を実施する」旨ある。

これは国・県等の施策の対象拡大に伴う措置かあるいは独自措置かを伺う。

また具体的にどのような流れでいつから実施するかを伺う。

併せて中程度以上の障害の範囲とはどの範囲かを伺う。

(3) 公契約の条例化をめざしての実務的質問

①県は平成30(2018)年に「沖縄県の契約に関する条例」を制定した。

これは当該自治体で民間企業を含めた視点でも、最大事業者である当該行政が発注する業務契約行為に関する条例であって、基本条項型(又は理念型)と賃金条項型があると認識している。

本員は、賃金条項型が実効あるものであって、本町・業者・労働者の3者においても良いサイクルだと考えている。

ついては、現時点において本町は公契約条例に関してどう考えるか、今後に向けて何らかのコメントをいただきたい。

答弁を求める者 町長

## 7. 船谷 政喜 議員 一般質問要旨

(1) 町立図書館の活用について(次世代への投資)

①町立図書館の活用が町にとって、町民にとってどのような役割を果たしていますか。

②図書館の拡張の予定はないですか。あればいつごろですか。

(2) オリオン通りの活性化と治安対策について

①オリオン通りの活性化は本町にどのような影響をもたらしますか。

②オリオン通りに提灯を設置してはどうか。賑わい感と、治安対策にも繋がります。

(3) 民間工事の騒音問題、住民との調和について

①町内で早朝、夜間の工事による騒音で町民とのトラブルの話が聞かれますが、解決のために本町としてどのような対策が取られていますか。

②他の自治体では、どのような対策を行っていますか。

(4) 未来を切り開くキャリア教育について

①本町で子どもたちへのキャリア教育はどのような事を行っていますか。

答弁を求める者 町長 教育長

## 8.新垣 真一 議員 一般質問要旨

(1) 観光振興と地域経済活性化に向けた道の駅構想について

①県が予定しているMICE施設の整備が決定した場合、本町への来訪者の増加が見込まれると考えられるが、観光振興や地域活性化に向けた受け皿作りについてどのように考えているのか伺います。

②全国的に整備が進んでいる「道の駅」について、本町において整備の可能性を検討する考えはあるのか伺います。

③道の駅は観光振興のみならず、農水産物や特産品の販売拠点、さらには災害時の防災拠点としての役割も期待されているが、そのような多機能型の交流拠点整備について町の見解を伺います。

(2) 学校等におけるてんかん発作時の対応について

①本町の小・中学校において、てんかん等の疾患を持つ児童生徒の把握状況と、発作時の対応体制はどのようになっているのか伺います。

②てんかん発作時に使用される口腔用液「ブコラム」の投与について、本町の学校現場ではどのような対応方針となっているのか伺います。

③教職員に対する発作時の対応や救急対応について、研修やマニュアル整備はどのように行われているのか伺います。

④保育園や学童クラブなど学校以外の施設における対応対策はどのようになっているのか伺います。

(3) 災害時における医療的ケア児・者の避難・搬送支援について

①本町に居住する医療的ケア児・者の人数や医療機器の使用状況について、町として把握しているのか伺います。

②医療的ケア児・者の「個別避難計画」は作成しているのか伺います。

③災害発生時において、医療的ケア児・者を安全に避難させるためには、リクライニング機能を搭載した車椅子を固定できる専用車両や移動中の医療的ケアが不可欠だが、どのような体制がとられているのか伺います。

④人工呼吸器など医療機器を使用している場合、停電時の電源確保が大きな課題となります。本町として、蓄電池や発電機などの支援対策はできるのか伺います。

⑤一般避難所では医療的ケア児・者が安心して過ごすことが難しい場合もあることから、福祉避難所の整備や受け入れ体制が重要と考えます。本町における福祉避難所の状況と、医療的ケア児・者の受け入れ対応について伺います。

答弁を求める者 町長 教育長

## 9. 相羽 としえ 議員 一般質問要旨

### (1) 与那原町マリンタウン地区の整備について

- ①マリンタウン地区3カ所の公有地土地利用基本計画の進捗状況の説明を。
- ②12月の議会では、MICE施設と関連して周辺の魅力ある環境、賑わいの創出として「マリンタウンエリアグランドデザイン」策定を行っている」と回答。町長の所信表明でも「魅力ある周辺環境整備に取り組む」と発言されている。具体的にどのような計画なのか。
- ③MICEありきでの計画ではマリンタウン地区はなかなか進まない。発想の転換で、先に既存の与那原マリーナを中心とした「ウオーターフロントのまちづくり」を構築し、併せてMICE誘致を促すことはできないか、町長の考えは。
- ④与那原マリーナの活用方針を県と協議しているのか。どのような連携をとり要望を伝えているのか。併せて海上交通の導入に関してはどのような計画なのか。また4月にパラオ船が入港する際、地元の町としてどのようにお出迎えをし、おもてなしをするのか。
- ⑤北谷町の「フィッシャリーナ整備事業」を参考に、与那原らしいモデルを構築できないか。その際、与那原の強みは何だとお考えか。
- ⑥B地区L字地帯の県有地は、3月4日によく年一回の除草作業が行われたが、ほぼ毎年放置のまま、背丈ほどある雑草の陰で交通事故、火災、犯罪のリスクもある。防犯面からも国や県に対し、維持管理基準の見直し、除草実施体制の強化を要請できないか。

### (2) スポーツツーリズムについて

- ①今年度与那原町スポーツ合宿誘致大作戦として、おもてなしのワークショップを開催、実際に駅伝チーム、女子バレーボールチームを受け入れた。良かった点と課題は。
- ②香港代表U16男子とU23女子の野球チームを受け入れた経緯と、良かった点、改善点は。
- ③一括交付金でスポーツツーリズム構築事業を継続する予算がついている。具体的に今後はどのような計画なのか。

- ④町長の所信表明で「スポーツを通じた新たな与那原ブランドの形成を目指す」とある。具体的に何か。
- ⑤国家的戦略としてもスポーツツーリズムを掲げ地域経済活性化を図っている。2034年には国民スポーツ大会が沖縄で開催され、与那原マリナーでセーリング競技が行われる事に関連して、町と県、国が連携してマリナー及び周辺環境整備を行い、併せてどのように交通網を整備していくのかお示し下さい。
- ⑥県は国スポに向けて「競技力向上」を明確に掲げており、「スポーツアイランド沖縄」関連の補助金がある。スポーツ庁にも「地域スポーツ活性化」の補助金があり、指導者招聘が可能になる。県と与那原町が連携して申請してみてもどうか。

### (3) 防災について

- ①来年度から小学校、中学校で防災授業を組み込んでいくときいている。具体的にどんな内容か。
- ②与那原町に福祉避難所はあるが、指定福祉避難所はない。よって要介護者、医療ケア児に対する準備が手薄であると感じる。所信表明でも、災害時に必要な飲料水や備蓄食料、災害時用機材の充実を図るとしているので、指定福祉避難所部屋を設置し、必要な備品や食材をストックすることはできないか。

### (4) 指定管理について

- ①軽便与那原駅舎展示資料館の指定管理者の具体的な業務内容と、有料来館者数の推移、増加状況を示して下さい。また、現状に関してどのように評価しているのか。
- ②来年度予算が決議されたが、予算の内訳は。決議の金額ではスタッフの削減などサービス低下もやむを得ない。県の「次世代交通ビジョンおきなわ」と与那原町の「地域総合交通戦略（後期戦略）」の核になる場所でもあり、サービス低下となれば、ブランド戦略の観点からも町の方針に逆行し、信頼の失墜を招き価値を大きく損なうのではないかと考えるが、今後の対応方針は。
- ③今後3施設を一括して指定管理を行う方向に進んでいる。ガイドラインはどのようになっているのか。

### (5) 3期目に出馬予定の照屋町長の基本姿勢について

- ①8年間の町政運営の中でご自身が最も成果があったと考える施策は何か、その根拠と客観的な成果をお示し下さい。また、この先4年間に、重視する政策分野と、それを実現させるための方法と財源の見通しは。

②町の安全と平和行政に関する町長の基本姿勢について、どのように町民の安全を守るのか、最も重視する価値は何か、ご自身の安全保障観と国の議論との整合性、判断基準は。

③平和行政の今後の方向性について、与那原町が掲げる「非核平和宣言」を今後どのように位置づけ、町政運営に反映させていくのか伺う。

答弁を求める者 町長 教育長

## 10. 城間 優希 議員 一般質問要旨

### (1) キャリア教育について

①現在、町内の小中学校において、将来設計やお金の知識を含めた教育はどのように行われているのか伺う。

②学校教育の中で、専門的知識を持つ外部講師の活用状況について伺う。

③先日、与那原中学校2年生を対象にライフプラン授業が行われたが、その効果や教育委員会としての感想を伺う。

④今後、外部専門家を活用したライフプラン教育を町内小中学校において継続的に導入する考えがあるか伺う。

### (2) 町内小中学校の冷水機について

①町内小中学校に設置されている設置台数及び設置場所について伺う。

②冷水機の清掃やフィルター交換などの維持管理はどのように行われているか伺う。

③冷水機から供給される水の水質確認や点検はどのくらいの頻度で実施されているのか伺う。

④小学校の冷水機において、サビ混じりの水が出るなど、飲料水として適さない状況が確認された。教育委員会としてこのような状況を把握しているのか伺う。

⑤町内小中学校すべての冷水機の状況を調査する必要があると考えるが、町の見解を伺う。

⑥安全に利用できるよう設備の修繕や更新などの対応を検討すべきと考えるが、今後の対応について伺う。

### (3) 低年齢化する薬物問題について

①与那原署管内において、エトミデートによる中学生の逮捕事案が発生したが、教育委員会としてはどのように受け止めているか伺う。

②12月定例会以降、町としてどのような対策や取り組みを行ったか伺う。

- ③学校教育の中でエトミデートなどの新たな薬物についての指導は行われているのか伺う。
- ④今回の事案を踏まえ、今後どのような対策を考えているのか伺う。

(4) 町内公園に設置されている防犯カメラについて

- ①町内公園に設置されている防犯カメラの設置箇所及び目的について伺う。
- ②先日、東浜にある公園にて、備品が燃やされる放火事件が発生したが、防犯カメラの映像から犯人特定にいたったのか伺う。
- ③現在設置されている防犯カメラの性能や解像度はどの程度なのか伺う。
- ④防犯カメラとして実効性のあるカメラ設置が必要と考えるが、今後の更新や性能向上について本町の考えを伺う。

答弁を求める者 町長 教育長

## 11. 松長 康二 議員 一般質問要旨

(1) 上の森公園Park - PFI事業について

- ①この事業を提案するまでの検討期間は。検討委員会の構成や委員会の開催回数などを伺う。また、企業へのサウンディングや利用者アンケートの調査結果内容は。(資料での提示を求む)
- ②令和8年度(上)に公募準備、(上~中)に公募指針の配布とあるが、本町の公募指針を伺う。
- ③東浜区にあったテニスコートが無くなったことで、テニスコート建設要請も一部の町民から以前話があった。今回の事業でテニスコートやゲートボール場を作り直すのであれば、テニスコートを増やしてもよいのではないか。
- ④本町は、庁舎からオリオン通りまでの道路拡張構想があるなかで、(案)のなかでは今回の事業対象箇所も対象の1つになっていたと思うが、その整合性は。本町の考えを伺う。

(2) 喫煙所設置について

- ①第1種施設では原則敷地内禁煙となっているが、屋外で必要な措置がとられた喫煙所は設置可能となっている。かなちホールが何らかのイベントや催しが行われている時に喫煙所がないため、喫煙者が庁舎の駐車場から出て喫煙をしているが、近隣住民からは受動喫煙やポイ捨てに関する相談などもある。きちんと喫煙場所を設置して対応するべきと考えるが、本町の考えは。

答弁を求める者 町長 教育長

## 12. 知念 正成 議員 一般質問要旨

### (1) 町長所信表明について（はじめに）

①「町民の健康」健康寿命の大切さで薬品事業者との連携協定に基づき令和7年度から官民一体となって「見える化」による健康づくりを展開とあるが、提携薬品事業者は何社か。また、どういう提携内容か要旨の説明を求める。

②環境省の脱炭素先行地域として4年を迎えている。地球環境の保護と持続可能な未来への一歩を確実に進めるため地域全体の協力を得ながら脱炭素の施策を実施していくとあり、脱炭素事業として約10億あまりの予算を計上しているが、4年間の実施状況と評価は。

ア、脱炭素事業の今後の重点的な施策は（10億円の主要な使い道）

イ、脱炭素も良いが今まで放出した二酸化炭素回収は。

### (2) 町長所信表明について（予算案の概要）

①一般会計の予算額は113億円あまり、収支不足分の8億円余りを財政調整基金から補填しているが、今後の若い世代に負担を負わず予算編成になっていないか、なっていないとするなら具体的な返済方法等は。

### (3) 町長所信表明について（計画的な街づくりの推進）

①「与那原町地域総合交通戦略（後期戦略）」に取り組むとあるが、町として公共交通の主体をどのように考えているか。また、時代に沿った交通手段の提案はあるのか。

### (4) 町長所信表明について（大型MICE関連及びマリンタウン地区の土地利用）

①公有地を活用した町独自の土地利用活用についてスポーツツーリズムを主体とした事業の実現で10階以上の宿泊施設を優先して建てる事が出来ないか。

### (5) 町長所信表明について（DXの推進）

①オンライン申請の拡充及びコンビニ交付サービスの利用率の向上について、与那原町の高齢者の比率は（65歳以上）また、高齢者に対してどのような方法で啓蒙活動を行うのか。

### (6) 町長所信表明について（生活環境）

①身近で信頼される窓口を目指す。誠実で親切な対応とありますが、縦割り行政の弊害を無くし効率の良い窓口業務の実施は。

②今年の1月から実施してきた働き方改革の状況（窓口受付時間短縮）

は

ア、超過勤務は導入前と比較して減ったか、また、ひと月60時間以上超過勤務している人はいるのか。

イ、行政課題への調査・検討、情報共有の機会を創出し、業務効率化やより良いサービスの質の向上に貢献しているか。

ウ、メンタルヘルスに配慮した環境整備の構築は。

③道路及び公園事業について、町主体の道路及び公園の整備に当り夏場の紫外線に備えて植樹の推進は、また、Park PFIの持続可能な運営方法は。

④都市計画及び下水道事業について、県や西原町と連携・協働し用途地域や地区計画の変更手続きについてどう変更するのか具体的に。また、下水道事業について整備率にこだわらず採算の合わない遠隔地で浄化槽でも水質に問題が無ければ浄化槽の推進は。

⑤住宅政策について、町営住宅で賃貸に使用されていない住宅はあるのか。あるとすればなぜ使用されていないのか。

#### (7) 町長所信表明について（産業の振興）

①次世代を担う認定新規就農者や地域農業者に対して支援を行うとあるが、今年度何人の認定新規就農者がいましたか（実績）。また、地域農業者に対して支援をすることですが、具体策はあるのか。

②水産業強化支援事業を活用し、漁業者の所得向上と経営安定の支援とあるが、水産業強化支援事業及びふるさと創生事業交付金を活用した当添地区でのセイイカ加工場の整備はできないか。（セイイカの身はキロ1400円、頭は360円）頭、足をそれなりの値段で買い取って串刺しにして全国へ販売してはどうか。

③商工業の振興について 「2026与那原町つなひきかちゃん商品券」をふるさと納税の返礼品として使用できないか。

④観光振興について、町の宿泊施設の把握状況は（民泊も含む）。

#### (8) 町長所信表明について（地域福祉の推進）

①高齢者福祉の実情は待ったなし、老人ホーム及び介護サービスで必要とする人が入居および手当できない人が存在するのか。存在するのであればその状況は、また、自立支援のための巡回型町内バスの搭乗者数及び実車率の把握状況と、将来、無人運転手バスでの運行は。

(9) 町長所信表明について（子育て支援）

①保育士不足による待機児童の解消について、来年度4月における待機児童の数は、また、いるとすればどのような対応策があるのか。

(10) 町長所信表明について（薬物への対応）

①将来を担う子供たちの未来を危険薬物から守り抜くとあるが、与那原警察署、東部消防、教育委員会及び区長をはじめ地域の人が町を巡回することを提案します。

(11) 町長所信表明について（国民健康保険制度及び後期高齢者医療制度）

①医療費分析及び医療費適正化に向けての取り組みを具体的にどのように分析し対応していくのか。

(12) 町長所信表明について（安全、安心で環境にやさしい街づくり）

①東部消防の見える化で、実際の消防車両を活用した火の用心の町の巡回又は職員による実施は。

(13) 町長所信表明について（防災・減災対策について）

①防災行政無線の野外スピーカー完了後は、町内全域へ必要な情報を迅速に発信できる体制が整いますとあるが、現段階で情報を迅速に発信できない理由は。

(14) 町長所信表明について（環境衛生）

①1.南部広域行政組合の新焼却施設の早期供用開始を目指すがあるが、新設までの概要の説明をお願いします。

②2.温室効果ガスの排出削減を加速させるため、ごみ減量化と再資源化を一層推進とあるが、ごみ減量化の対策として、リサイクルショップの併設をするべき。

③町民の負担軽減のため、ゴミ袋の空いている面に企業の広告を入れてゴミ袋を安くするか、リサイクルショップの積立基金にしては。

(15) 町長所信表明について（教育・文化・スポーツの諸施策）

①学校教育について、学校運営や課題に対し、保護者や地域住民の皆さんが参画できる仕組みを構築しとあるが、保護者や地域住民の参画方法は。

②学校給食について、新しい学校給食センターの整備、運用をPFI方式を採用し効率的・機能的で新衛生基準に準拠した方法で行うとあるが、PFI方式にすることにより町民の負担は増加しないですか。また、町の要望等はいつでも迅速に聞きとって貰えますか。

(16) 町長所信表明について (国際交流事業)

①海外友好親善大使人材育成事業で1名の研修生を受け入れる。とあるが、どこの国から期間は何日くらいですか。

答弁を求める者 町長 教育長